

2-8 バイオ炭と下水汚泥、牛ふん混合堆肥をペレット化 (株式会社アサギリ)

下水汚泥	牛ふん	食品残渣
バイオ炭	ペレット	県内
		広域流通

- 下水汚泥、工業汚泥、牛ふん等を原料とした汚泥肥料「アサギリMIXペレット」に広域連携による隣接地域山梨県南部町から発生するバイオ炭を混合し、更なる土づくり効果に加え、ペレット化による機械散布を実現。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称

- ・牛ふん
- ・下水汚泥
- ・食品汚泥
- ・食品残渣
- ・工業汚泥
- ・鶏ふん
- ・バイオ炭

汚泥肥料

アサギリMIX

アサギリMIX ペレット

アサギリMIX(バイオ炭含有)

アサギリMIX ペレット(バイオ炭含有)

■主成分の含有量(%)、特徴等

N	P	K
1.23	2.00	1.00

アサギリMIXの特徴として、微量ミネラルが豊富で熱乾燥しないペレット形成をしている為、有用微生物や放線菌群が豊富に含有。

■作物

水稻、果樹、
造園、葉物、
根菜類、芝等

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者

肥料製造、販売者

肥料利用者

静岡県富士宮市
乳牛牧場

静岡県内外18市の
下水処理場の汚泥

株式会社
アサギリ

汚泥肥料を
ペレット化

山梨県南部町
バイオガス発電所
バイオ炭

- ・J A 富士伊豆組員
- ・J A 笛吹組員
- ・西尾商店(神奈川県横浜市)
が販売する露地野菜農家
- ・ライスジャパン株式会社
(和歌山県和歌山市) 水稻向け
- ・富士、富士宮市内農家

■取組の経緯・内容・成果(見込み)

取組の経緯

- ・平成12年から下水汚泥等を活用し汚泥肥料を製造。行政から地域の牛ふん処理の依頼を受け、牛ふん含有量50%の「アサギリMIX」を製造開始。さらに、耕種農家の「散布しやすい商品」の要望から「アサギリMIXペレット」を開発。
- ・隣接の山梨県南部町のバイオマス施設から発生するバイオ炭の利活用として、「アサギリMIX」に混合。汚泥肥料品質及び付加価値向上、中小企業によるJ-クレジット取引実現

取組の内容

- ・酪農家、汚泥を管轄する行政、肥料製造を行う(株)アサギリが連携し、地域で発生する有機質資源を有効活用して肥料化し、JA組合員等が地域内で利用することで炭素循環のシステムが図られた。
- ・飼料作物(リードカナリグラス)の栽培実証において牛ふん堆肥と比べ、25%以上の収量増(飼料代として約1カ月分のコストカットが可能)との調査データが得られた。
- ・広域流通を目指して富士宮市と東京農業大学との連携協定を機に、大学と繋がりのある販売先とのマッチングを行ったことで、JA清水、JA御殿場へと販売拡大。

成果(見込み)

- ・ペレット化により、従来散布困難な茶畑にも乗用肥料散布機での施肥が可能。
- ・バイオ炭含有することにより、汚泥肥料付加価値増加とJ-クレジット取引が可能。

■今後の課題・取組

- 【取組】
- ・菌体りん酸肥料登録を目指し製造。
 - ・牛ふん堆肥の散布が難しい地域、品目に対して機械散布実証実験。
 - ・バイオ炭含有製品の流通拡大

- 【課題】
- ・利用者への周知活動。
 - ・導入・散布面積の増加。
 - ・ペレット製品含水率安定化。
 - ・バイオ炭の安定確保

